おわりに

本調査研究会は、不要電波問題対策協議会が、調査報告書「携帯電話端末等の使用に関する調査報告書～医用電気機器への電波の影響を防止するために～」をまとめた平成９年４月以降の携帯電話端末等を利用する電波環境の状況の変化に着目し、植込み型心臓ペースメーカに対する現行の指針の妥当性の確認、また病院内における医用機器について、最近の無線システムに対しても、現在の指針の下で十分に安全が確保されていることの確認及び病院内における無線システム導入の可能性を検討することを目的として調査検討を行った。

今回の調査検討において、新しい方式の携帯電話端末、新機種の植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器、さらに病院内の医用機器について、現行の指針の下で安心して携帯電話端末等を利用できる電波環境が維持されていることが確認できた。また、今後病院内において無線システムを導入するために必要な課題についても明らかにした。このように、携帯電話端末等の利用に関する安全性を示す調査検討結果を得たことで、国民の不安を軽減し、安心して携帯電話端末等を利用できる電波環境の確保に寄与できれば幸いである。

最後に、本調査研究会の座長を務めていただいた東京女子医科大学　高倉学長を始めとする各委員の方々に厚く御礼申し上げる次第である。